

# 「ホワイト物流」推進運動

## 持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
乾汽船株式会社	代表取締役社長	乾 康之	東京都	倉庫業	<a href="http://www.inui.co.jp">http://www.inui.co.jp</a>

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2019年9月26日
-------	------------

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ①	物流の改善提案と協力	取引先から、荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、附随作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に荷主へ理解と協力を求める提案を行います。
2	A ⑧	出荷に合わせた生産・荷造り等	休憩時間のシフト制の採用、取引先の積込み順・引取り順に合わせた倉庫オペレーション等で、荷待ち時間の短縮に努めます。
3	A ⑮	納品日の集約	取引先から隔日配送化、定曜日配送化等の納品日の集約に関する提案があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に荷主へ理解と協力を求める提案を行います。
4	F ①	配送ムラの平準化	納品時間を分散し、配送の波動を平準化させるため、不要不急の時間指定は解除するよう荷主へ理解と協力を求める提案を行います。
5	F ②	車両のスキマの有効活用	貨物のニーズと荷台のスキマを掛け合わせるITプラットフォームを活用し、配送効率の向上に貢献します。
PR欄			『サプライチェーンで取り組む配送効率化「バラちらし」』 ～ 2018年度 ロジスティクス大賞・経営革新賞／グリーン物流パートナーシップ・特別賞 ～ 当社は荷主の理解と協力のもと、商取引に潜む多様な制約条件にまで焦点をあて、ロジスティクスの全体最適化のために、物流の持続可能性の向上に資する提案活動を推進しています。